

【施策の柱1 高度なモノづくり技術・技能を有する人材の育成支援】

ア 基幹産業を支える次世代のモノづくり人材の育成

- 次世代産業を担う若者の育成に向けて、県立高校の工業科について、グローバル化、デジタル化の進展に伴う産業界のニーズの変化を踏まえ、優秀な理数工学人材やモノづくり企業で活躍できる女性人材などを育成する学科・コースの設置、工科高校への改称を行い、魅力の向上を図る。

実績（2022年度）

- ・新2年生への専門教育の実践、3年生への教育内容の具体の検討

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（新2年生への専門教育の実践及び、新3年生の教育内容の実践）

- 県内職業訓練及び研修実施機関の訓練・研修情報や、中小及び小規模企業の人材育成の取組事例等を一元化及び見える化したポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」を運営し、企業に必要な訓練・研修を効果的に選択できるよう利便性の向上を図る。

実績（2022年度）

- ・「ひと育ナビ・あいち」の運営（総ページビュー数 76,571件）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（総ページビュー数 17,229件（6月末時点））

- 産業人材育成施策に関する相談・情報提供窓口として県労働局産業人材育成課内に設置の「愛知県産業人材育成支援センター」を拠点として、「産業人材育成連携コーディネーター」による企業巡回、技能習得支援に係るコーディネート、経営者向けの啓発を目的とする会合等を実施する。

実績（2022年度）

- ・コーディネーターによる支援（訪問等件数 219件）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（訪問等件数 31件（6月末時点））

イ 科学技術人材の育成

- 将来、産業や社会、学術の発展への貢献が見込める夢のある研究テーマ・アイデアを顕彰する「わかしゃち奨励賞」により、若手研究者の研究奨励を実施する。

実績（2022年度）

- ・「わかしゃち奨励賞」の実施（提案28件 受賞8人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（12名受賞決定予定）

- 少年少女発明クラブの支援を通じて、小中学生のモノづくり・科学技術に対する興味・関心を掘り起こし高める。

実績（2022年度）

- ・出張発明クラブの開催（5回 参加者数173人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（目標参加者数120人）

ウ グローバル人材の育成

- 外国人留学生の県内企業への就職促進のため、インターンシップ、企業見学ツアー等を実施する。また、アジア地域から技術系を中心とした留学生を受け入れ、大学院での修学終了後に本県企業への就職を促すことにより、世界有数のモノづくり地域を支える人材の集積を図る。

実績（2022年度）

- ・留学生インターンシップの実施（留学生エントリー数144人 企業81社）
- ・企業見学ツアーの開催（2回）
- ・あいちのものづくりを支える留学生受入（新規受入5人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（留学生インターンシップ：予定エントリー数171人 企業76社）
- ・継続実施（企業見学ツアー 2回開催）
- ・継続実施（留学生受入 予定新規受入5人）

エ 県立高等技術専門校の機能充実

- 新規学卒者や若年者、離転職者等を対象に職業訓練を実施している県立高等技術専門校の組織再編と施設整備を一体的に進め、地域や企業のニーズを踏まえたモノづくり人材の育成機能を強化し、中小企業への支援の充実を図る。

[専門校施設内訓練]

2018年度時点で県内に6校あった高等技術専門校を現在3校（名古屋校・岡崎校・東三河校）に集約しており、「岡崎高等技術専門校」の全面的な建て替えの後に2校体制とする（2025年度予定）。

実績（2022年度）

- ・三河地域の拠点として、岡崎高等技術専門校の施設整備を実施（新館建設3年目）
- ・整備の進捗に合わせ機械技術科・3Dモデリング科の2科を新設

取組状況（2023年度）

- ・引き続き、岡崎高等技術専門校の施設整備を実施（新館建設4年目）

再編・整備後の姿	
校名	主な訓練科
名古屋高等技術専門校（名古屋市北区）	組込みシステム科 機械エンジニア科 電気機器科 建築デザイン施工科 総合造園科
窯業校（瀬戸市）	陶磁器科
三河高等技術専門校（仮称）（岡崎市）	ロボットシステム科（仮称） 3Dモデリング科 機械技術科 ビル施工科（仮称） 電気工事科
東三河校（豊川市）	インテリア科（仮称）

- ・「名古屋高等技術専門校」における「組込みシステム科」の新設に続き、「岡崎高等技術専門校」において順次、ロボットシステム等の訓練科を新設し、DX（デジタルトランスフォーメーション）が加速する中で中小企業のニーズに応じデジタル技術に対応した人材の育成を図る。

実績（2022年度）

- ・普通課程訓練（施設内）の実施（5科 受講者106人）
- ・岡崎高等技術専門校に「機械技術科」を新設

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（5科 定員210人）

- ・モノづくり分野、建築分野を基本に、幅広い層の離職者や転職者を対象として、就職に必要な基礎的な技能と技術を身に付けるための訓練を実施する。

実績（2022年度）

- ・短期課程訓練（施設内）の実施（11科 受講者352人）
- ・岡崎高等技術専門校に「3Dモデリング科」を新設

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（11科 定員510人）

- ・職業人生が長期化する中で、中小企業における人材のリスクリングやスキルアップを強化するため、在職者を対象とした職業訓練の規模・内容の充実を図っていく。

実績（2022年度）

- ・在職者訓練の実施（158コース 受講者1,429人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（162コース 定員1,600人）

[委託訓練]

- ・多様な訓練コースを提供し、離職者等の早期再就職を積極的に支援する。
- ・女性、非正規雇用労働者等の再就職のための訓練メニューや、託児サービスを利用できるコースを備える。
- ・感染症の影響でオンラインによる訓練のニーズが見込まれることから、新たな訓練形態としてオンラインコース（3か月訓練）を設定する。

実績（2022年度）

- ・短期課程訓練（雇用セーフティネット対策訓練）の実施（281コース 受講者3,263人
うちオンラインコース21コース 受講者223人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（285コース 定員5,166人）

オ モノづくり技能の振興による技能尊重気運の醸成・モノづくり技能の継承支援

- 2019年度及び2020年度の技能五輪全国大会・全国アビリンピックの本県開催により高まった技能への関心や技能尊重気運を、技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの選手派遣等を通して継承していく。

実績（2022年度）

- ・技能五輪全国大会への選手派遣（入賞者88名 全国1位）
- ・全国アビリンピックへの選手派遣（入賞者12名 メダル獲得数全国1位）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（技能五輪全国大会での最優秀技能選手団賞（全国1位）の獲得、全国アビリンピックでのメダル獲得全国1位）

- 若い世代に技能五輪を知ってもらい、将来の職業として技能者を目指してもらえよう、小中学校や特別支援学校に技能五輪メダリスト等の技能者を派遣する出前講座を行うとともに、大会を目指す選手が行う練習の見学会を開催する。

実績（2022年度）

- ・派遣講座の実施（71校）及び練習見学会の開催（6社・2校）

取組状況（2023年度）

- ・派遣講座、練習見学会の継続実施（予定61校）

- モノづくりとデジタル技術への興味を深めてもらい、未来のデジタル利活用人材の育成につなげるため、企業等と連携し、小中学生を対象としたロボット製作・プログラミング制御の競技大会を開催する。

実績（2022年度）

- ・競技大会の開催（参加者：小学生69人、中学生61人 計130人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（参加者：150名程度想定）

- 民間企業や中小企業団体等が行う職業訓練の認定、技能検定等の技能評価制度や、「あいちの名工」等の優秀な技能者に対する表彰を通じ、企業等における技能の継承を支援する。

実績（2022年度）

- ・愛知県優秀技能者表彰（あいちの名工）の実施（101人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 中小企業が効率良く社内の独自技能を継承できるよう、技能継承の進め方、暗黙知（カン、コツ）の明確化などを学べる場を提供する。

実績（2022年度）

- ・eラーニングの実施（5コース125人）、セミナーの開催（3回）、ハンズオン支援（3社）

取組状況（2023年度）

- ・セミナーの開催（1回）1伴走型支援（5社）

- 「あいち技の伝承士」として登録した企業OB等の熟練技能者を中小企業や工科高校等に派遣し、オーダーメイド型の技能指導を通じて、若手従業員や外国人技能実習生への安全教育を含む企業内の人材育成を支援し、若者の技術・技能の向上を図る。

実績（2022年度）

- ・熟練技能者の派遣（34件 うち中小企業24社、学校10校）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

【施策の柱2 デジタル人材の育成・確保】

ア デジタル提供人材の育成・確保

- 「名古屋高等技術専門学校」に IoT 分野の訓練に対応した「組込みシステム科」を設置し、ソフトウェア開発技術者等を育成するほか、「岡崎高等技術専門学校」に 3Dモデリングやロボットシステム等に関する訓練科を新設し、デジタル化に対応したモノづくり人材の育成機能を強化する。

実績（2022年度）

- ・名古屋高等技術専門学校での育成（組込みシステム科 受講者 32人）
- ・岡崎高等技術専門学校での育成（3Dモデリング科 受講者 51人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（名古屋高等技術専門学校：定員 40人、岡崎高等技術専門学校：定員 60人）

- 基礎レベル以上の IT スキルを有する就職氷河期世代の求職者を対象に、デジタル技術等を習得するための研修と、求職者と企業とのマッチング後の雇用先となる企業での実習を組み合わせた、雇成型訓練を実施する。

実績（2022年度）

- ・雇成型訓練の実施（参加者数 10人 うち就職決定者 8人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（参加者数 15名で実施予定）

- デジタル人材の確保・育成を図るため、大学生等が IT 関連の新たな製品・サービスを開発するハッカソンを開催する。

実績（2022年度）

- ・ハッカソンの開催（参加者数 16大学 19チーム 80人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（100人/年度を目標）

- デジタル人材を育成するため、県内の情報系学部・学科を有する大学や県内経済団体と連携し、企業への長期インターンシップや、企業と連携した PBL（Project-Based Learning：課題解決型学習）の実施を促進する。

実績（2022年度）

- ・企業と連携した PBL のマッチング実施（2事業*の実施が決定）
※名城大学とトヨタコネクティッド(株)、愛知県立大学とトヨタコネクティッド(株)

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 新たなロボット競技会の実施により、ロボット産業を支える人材の創出を促進する。

実績（2022年度）

- ・第1回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 県庁内の部局横断組織である「産業人材育成・確保促進プロジェクトチーム」内に設置した「デジタル人材育成ワーキンググループ」において、産業界のニーズを踏まえた、デジタル技術分野に係る人材育成の更なる方策を検討し、連携・情報共有を図る。

実績（2022年度）

- ・「産業人材育成・確保促進プロジェクトチーム」において「あいちデジタル人材育成支援アクションプラン」の進捗管理

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

イ デジタル利活用人材の育成・確保

- 経営者層向けのセミナーを開催し、デジタル技術を活用した経営改善を促進する。

実績（2022年度）

- ・経営者層向けのセミナーの開催（参加者数 167人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（予定参加者数 100名）

- 中小企業において社内のデジタル化を推進する人材の育成に向けた研修会を実施する。

実績（2022年度）

- ・ミドル層向け研修の実施
（能力開発リーダー向け研修:301人、新事業開発リーダー向け研修:30人）
- ・一般社員向け研修の実施
（データ分析・活用人材育成研修:1,179人、デジタル化・DX推進人材育成研修:89人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施
（能力開発リーダー向け研修:160人予定、新事業開発リーダー向け研修:40人予定）
- ・継続実施
（データ分析・活用人材育成研修:1,200人、デジタル化・DX推進人材育成研修:120人
ノーコードツール活用人材育成研修:160人 **新規**）

- 支援機関の指導員などを対象とした事例紹介などの研修会を行い、県内企業のデジタル化を広く推進する。

実績（2022年度）

- ・商工会、商工会議所の経営指導員を対象とした研修の実施（7回 参加者数 96人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 高等技術専門校において、デジタル分野を含めた中小企業の人材育成ニーズに対応した在職者訓練を実施する。また、離転職者等を対象に、デジタル分野をはじめ多様な訓練を民間教育機関等に委託して実施する。

実績（2022年度）

- ・在職者訓練の実施（デジタル分野 受講者 923 人）
- ・委託訓練の実施（デジタル分野 受講者 2,463 人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（在職者訓練:定員 1,600 人のうちデジタル分野の定員 850 人）
- ・継続実施（委託訓練:定員 5,166 人のうちデジタル分野の定員 3,198 人）

- 県立高校及び特別支援学校において児童生徒用一人一台端末の整備を進め、ICT を活用した教育を推進する。

実績（2022年度）

- ・一人一台端末の整備（高等学校:累計 116,734 台整備、特別支援学校:5,866 台整備）

取組状況（2023年度）

- ・児童生徒用タブレット端末の保守を実施

- モノづくりとデジタル技術への興味を深めてもらい、未来のデジタル利活用人材の育成につなげるため、企業等と連携し、小中学生を対象としたロボット製作・プログラミング制御の競技大会を開催する。【再掲】

実績（2022年度）

- ・競技大会の開催（参加者：小学生 69 人、中学生 61 人 計 130 人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（参加者：150 名程度想定）

【施策の柱3 キャリア教育の推進とリスキリング・スキルアップの支援】

ア 発達段階に応じたキャリア教育の推進

- 全日制県立高校全校におけるインターンシップの継続実施や、「キャリア教育コーディネーター」による企業開拓等により、インターンシップ等の体験活動に参加する生徒の増加を図る。

実績（2022年度）

- ・県立高等学校全日制でインターンシップを実施（約9割で実施）
- ・キャリア教育コーディネーターによるインターンシップ受入の開拓（モデル校18校）
- ・普通科・総合学科を設置する全日制県立高等学校にキャリア教育研修を実施（112校）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（インターンシップの実施、受入校の開拓、キャリア教育研修の実施）

- 県立の工科高校における「地域ものづくりスキルアップ講座」や、職業学科（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉科）設置校を対象とした「地域産業専門講座」の実施などを通じ、モノづくりなどの産業人材を育成する。

実績（2022年度）

- ・地域ものづくりスキルアップ講座（クラフトマンⅢ）の実施（16校）
- ・地域産業専門講座の実施（47校）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（クラフトマンⅢ:17校予定、地域産業専門講座:54校予定）

- 高等特別支援学校・校舎以外の全県立知的障害特別支援学校高等部に設置している職業コースの充実や、「就労アドバイザー」による企業開拓及び進路指導等を通して、多様な業種に対応できる生徒の育成に向けた職業教育の充実を図る。

実績（2022年度）

- ・県立知的障害特別支援学校高等部への「職業コース」の設置継続（2021年度全校設置）
- ・就労アドバイザー拠点校5校へ1名ずつ配置、就労促進アンバサダーの設置 **新規**

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（「職業コース」の設置、就労アドバイザーの配置、就労促進アンバサダーの設置）

- 愛知労働局において、学校内企業説明会、職業講話、職業適性検査等を実施することにより、職業意識の形成支援を図る。

実績（2022年度）

- ・愛知労働局と愛知県の共催による小中学校教員のモノづくり企業見学会の実施（2地域（豊川、あま）21名）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（2地域（西尾、春日井））

イ 産業界と連携したキャリア教育の推進

- 本県機関における大学生のインターンシップ受入を推進する。

実績（2022年度）

- ・インターンシップの受入（募集人数:46所属189人、応募人数:997人、受入人数:222人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（募集人数:44所属178人、応募人数:710人、受入人数:未定）

- 全国初の公設民営により設置した「愛知総合工科高校専攻科」において、「モノづくり愛知」の将来を担うスペシャリストとして、生産現場の牽引役となる人材の育成を目指す。

実績（2022年度）

- ・公設民営第2期の開始、学科改編、教育課程の見直し

取組状況（2023年度）

- ・公設民営制度を生かした民間企業等の実務家教員による高度な専門教育の実践

- 固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、中高生・大学生等が今後の進路・職業選択の幅を広げることができるよう、企業等の協力の下、職場で活躍する女性ロールモデルの紹介や就業継続を意識づける講義等を内容とした出前講座を開催する。

実績（2022年度）

- ・出前講座の開催（中高・大学等15校 2,823人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（15校 2,250人予定）

ウ キャリアアップに向けたリスキリング・スキルアップの支援

- 高等技術専門校において、中小企業等の在職者を対象に、新しい知識や技術を身につけ、より一層の職業能力の向上を目指すための個人向け短期間コースや、各種団体や企業のニーズに応じたカリキュラムを設定するオーダーメイド型スキルアップ講座を実施する。 **再掲**

実績（2022年度）

- ・在職者訓練の実施（158コース 受講者1,429人 うちオーダーメイド型訓練24コース 受講者208人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（162コース 受講者1,600人 うちオーダーメイド型訓練25コース 定員200人）

- 離転職者等を対象に再就職を支援する委託訓練において、求職者の様々なニーズに応じて、3か月の短期コースから国家資格取得等を目指す2年間の長期コースまでの多様な訓練コースを提供する。再掲

実績（2022年度）

- ・短期課程訓練（雇用セーフティネット対策訓練）の実施（281コース 受講者3,263人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（285コース 定員5,166人）

- 女性が活躍できる環境の整備に向けて、女性の活躍に関する理解や知識を深めてもらうセミナーなどを通して、働く女性の人材育成を支援する。

実績（2022年度）

- ・女性管理職養成セミナーの開催（4回/1コース 4コース 参加者103人）
- ・働く女性の交流事業の実施（1回18人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（セミナー:4コース 各コース定員20人、交流事業:1回 定員30人）

- 個人の意欲・能力を生かして活躍できる環境の整備を進めるため、大学等関係者、市町村職員、県民を対象にリカレント教育について理解を深めるためのフォーラムを開催する。

実績（2022年度）

- ・リカレントフォーラムの開催（参加者166人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 「ヤング・ジョブ・あいち」において、愛知労働局等と連携して、職業適性診断、職業紹介、キャリアコンサルティング等の総合的な支援を実施する。

実績（2022年度）

- ・ヤング・ジョブ・あいち 延べ利用者40,029人、うち就職者5,383人

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

エ 特別な配慮が必要な人材へのリスキリング・スキルアップの支援

- 高等技術専門校において知的障害者を対象に、就職先業務として想定される事務補助や清掃等の作業をカリキュラムに取り入れたコースを実施する。

実績（2022年度）

- ・知的障害者を対象とした職業訓練の実施（2科 受講者11人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（2科 定員20人）

- 一般の施設では訓練が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者等の職業的自立を支援するため、「愛知障害者職業能力開発校」において、能力に対応した基礎的な技能や知識を習得するための訓練を行う。また、障害のある在職者を対象としたスキルアップ講座を実施する。

実績（2022年度）

- ・障害者施設内訓練の実施（6科 受講者55人）
- ・障害者在職者訓練の実施（9コース 受講者19人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（施設内訓練:6科定員125人、在職者訓練:10コース定員50人）

- 「愛知障害者職業能力開発校」において障害のある求職者を対象に、民間教育訓練機関等を活用した、パソコンやビジネススキルなど短期間の職業訓練を行う。

実績（2022年度）

- ・障害者委託訓練の実施（70コース 受講者125人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（67コース 定員200人）

- 高等技術専門校の委託訓練において、座学訓練、企業実習及びキャリアコンサルティングを組み合わせた訓練のほか、「e-ラーニング」や「定住外国人向け職業訓練」など、求職者の様々なニーズに応じたコースを設定する。

実績（2022年度）

- ・短期課程訓練（雇用セーフティネット対策訓練）の実施（281コース 受講者3,263人
うちeラーニングコース 4コース 受講者21人
定住外国人向けコース 3コース 受講者24人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（285コース 定員5,166人）

- 就職氷河期世代の就職を支援するため、キャリアコンサルティング、ビジネスマナーなどの事前研修及び紹介予定派遣制度を活用した短期間の職場実習を実施するとともに、ビジネススキル習得のためのセミナーを開催し、職場定着を図る。

実績（2022年度）

- ・就職・正社員化の実現に向けた支援（参加者数114人 就職決定者数（正社員）30人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 定住外国人の介護職への就労促進を図るため、雇用型訓練（日本語教育研修、介護職員初任者研修、職場実習）を実施する。

実績（2022年度）

- ・雇用型訓練の実施（雇用者数27人 就職率95.6%）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（定員30人）

【施策の柱4 中小・小規模企業の人材育成の支援】

ア 中小・小規模企業のニーズに対応した人材の育成

- 産業人材育成施策に関する相談・情報提供窓口として県労働局産業人材育成課内に設置の「愛知県産業人材育成支援センター」を拠点として、「産業人材育成連携コーディネーター」による企業巡回、技能習得支援に係るコーディネート、経営者向けの啓発を目的とする会合等を実施する。再掲

実績（2022年度）

- ・コーディネーターによる支援（訪問等件数 219件）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（訪問等件数 31件（6月末時点））

- 「愛知県産業労働センター」等において、中小企業の様々な支援策に関する情報提供などをワンストップで実施する。

実績（2022年度）

- ・ワンストップ支援窓口の設置（利用件数 8,789件）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施

- 中小企業や中小企業団体が自ら実施する認定職業訓練に対し助成を行うとともに、訓練に関する指導、助言、情報提供等を実施する。

実績（2022年度）

- ・認定訓練（普通課程）への補助（対象者数 115人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（168人/年度を目標）

- 中小企業の人材育成力向上に資する経営者や幹部社員向けの研修メニューを提供する商工会議所等を支援する。

実績（2022年度）

- ・経営者や幹部社員向けの研修の実施（参加者 3,396人）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（620人/年度を目標）

イ 生産性向上に向けた人材の育成

- 専門家を派遣することで、生産工程の合理化等、生産性の向上につながる支援を実施する。

実績（2022年度）

- ・専門家派遣事業の実施（90社）

取組状況（2023年度）

- ・継続実施（2025年度までに200社目標）

【計画のアウトカム指標（目指すべき地域の姿）】とその状況

項目	目標値（愛知県）	2022年 （年度）	2021年 （年度）	2020年 （年度）	2019年 （年度） 計画策定時
①労働力人口の全国シェア	6.2% (2025年までに)	6.2%	6.2%	6.2%	6.1%
②労働力率	64.5%を上回る (2025年までに)	65.3%	65.1%	64.8%	64.5%
③若者(25～44歳)の完全失業者数(年間)	25,000人以下 (2025年までに)	35,000人	41,000人	46,000人	34,000人
④女性(25～44歳)の労働力率	78.8% (2025年までに)	79.8%	77.2%	78.9%	77.7%
⑤高齢者(65歳以上)の労働力率	26.9% (2025年までに)	26.8%	26.7%	26.1%	25.9%
⑥民間企業における障害者の法定雇用率達成	法定雇用率2.3%の達成 (2023年までに) その後、法定雇用率の維持 (2025年まで)	2.19%	2.14%	2.08%	2.02%
⑦技能検定合格者数	8,500人/年度 (2025年度まで)	6,840人	6,913人	2,631人	7,530人

【計画のアウトプット指標（県や関係機関が実施すべき目標）】とその状況

施策の柱	項目	目標値	2022年度実績
1 高度なモノづくり技術・技能を有する人材の育成支援	1. あいち産業科学技術総合センターにおける新技術に対応できる人材の育成	育成人材の人数5,000人 (2025年度までに)	1,123人 2,230人(2021-累計)
	2. あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムにおける人材育成支援	航空宇宙産業の人材育成研修受講者数 500人日/年度	2,586人
	3. あいち産業科学技術総合センターにおける計測分析機器実習等	研修参加者数 13人/年度	21人
	4. FCV・水素に関する専門講座	参加者数 30人/年度	41人
	5. ポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」の運営	産業人材育成ポータルサイト総ページビュー件数 90,000件/年度	76,571件
	6. 愛知県産業人材育成支援センターにおける人材育成支援	産業人材育成連携コーディネーターの企業等向け技能習得支援コーディネート件数 400件/年度	219件
	7. 外国人留学生の県内企業への就職促進	県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数 1,500人/年度	1,306人 (2021年度実績)
	8. 県立高等技術専門学校における人材育成	普通課程の普通職業訓練修了者の就職率 95%/年度	97.1% (2021年度)
	9. 県立高等技術専門学校における人材育成	短期課程の普通職業訓練修了者の就職率 80%/年度	84.3% (2021年度)
	10. 県立高等技術専門学校における人材育成	在職者訓練生数 1,200人/年度	1,429人
	11. 県立高等技術専門学校における人材育成	短期課程の普通職業訓練修了者(雇用セーフティネット)の就職率 75%/年度	75.9% (2021年度)
	12. 技能五輪全国大会・全国アビリンピックへの選手派遣等	技能五輪全国大会での最優秀技能選手団賞(全国1位)の獲得、全国アビリンピックでのメダル獲得数全国1位	技能五輪 全国1位、 アビリンピック 全国1位 (各2022年度実績)
	13. 小・中学校や特別支援学校に技能五輪メダリスト等の技能者を派遣する出前講座	事業に参加して技能に興味・関心を持った児童・生徒の割合 80%以上/年度	84%
	14. 企業等における技能継承の支援	認定職業訓練生数 25,000人/年度	16,278人
	15. 熟練技能者を中小企業や工科高校等に派遣	熟練技能者の派遣件数 31団体/年度	34団体
	16. 愛知県職業能力開発協会における「ものづくりマイスター」などの派遣	実技指導の受講者数 3,100人/年度	2,722人
	17. 事業承継総合支援センターにおける対応	事業承継税制に係る認定件数 500件(2025年度までに)	96件 246件(2021-累計)

施策の柱	項目	目標値	2022年度実績
2 デジタル人材の育成・確保	18. ハッカソンの開催	ハッカソン参加者数 100人/年度	80人
	19. デジタル人材育成ワーキンググループにおける検討	産業人材育成・確保促進プロジェクトチーム及びデジタル人材育成ワーキンググループ会議開催回数 3回/年度	1回
	20. 経営者層向けのセミナー	参加者数 100人/年度	167人
3 キャリア教育の推進とリスティング・スキルアップの支援	21. インターンシップ等の体験活動	県立高校におけるインターンシップに参加した生徒数 18,000人/年度	8,775人
	22. 県立高校における産業人材育成	県立高校生の技能検定合格者数 800人/年度	539人
	23. 県立特別支援学校における職業教育の充実	特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率 50%/年度	36.6%
	24. 女性ロールモデルの紹介や就業継続を意識づける講義等を内容とした出前講座	性別役割分担意識にとらわれない進路・職業選択支援を受ける生徒・学生数 5,000人(2025年度までに)	2,823人
	25. 女性管理職を養成するためのセミナーの開催	管理的職業従事者に占める女性の割合 20%(2025年度までに)	13.5% (2017年度実績)
	26. リカレント教育について理解を深めるためのフォーラムの開催	大学等高等教育機関における公開講座の開催数 2,750講座/年度	1,163講座 (2021年度)
	27. ヤング・ジョブ・あいちにおける支援	ヤング・ジョブ・あいちの利用者の就職者数 過去3年間平均から5%の増加/年度	3.6%減(2022年度実績 5,383人、2019-2021年度平均5,586人)
	28. 公共職業訓練と求職者支援訓練の一体的な推進についての検討	愛知地域訓練協議会開催回数 2回/年度	2回
	29. 定住外国人向け雇用型訓練(日本語教育研修、介護職員初任者研修、職場実習)	定住外国人向け委託訓練の就職率 85%/年度	95.6%
	30. シルバー人材センターにおける取組の推進	シルバー人材センター登録者数 48,825人(2024年度までに)	35,000人

施策の柱	項目	目標値	現状値
4 中小・小規模企業の材育成の支援	31. 愛知県産業労働センター等における情報提供	ワンストップ支援窓口の利用件数 35,000件(2025年度までに)	8,789件 16,516件(2021-累計)
	32. 認定職業訓練に対する助成	認定訓練(普通課程)補助対象者数 168人/年度	115人
	33. 研修メニューを提供する商工会議所等への支援	研修参加者 620人/年度	3,396人
	34. 生産性の向上につながる支援	専門家派遣事業者数 200社(2025年度までに)	90社 163社(2021-累計)